

海岸の復旧が進んでいます

福島県の事業

請戸漁港周辺では、平成27年度末までに完了する予定で、岸壁や防波堤、導流堤などの修復が進められています。また、棚塩地区・請戸中浜地区・浪江中浜地区の海岸でも、堤防工や消波工の災害復旧工事（延長およそ2.5キロ）が始まりました。平成29年度中に完了する予定です。



6月3日に行われた海岸の災害復旧工事の着工式の様子（堤防の実寸模型前にて）



復旧が進む請戸漁港



消波ブロックの据付を開始



除染が終わってきれいになった幾世橋小の校庭



除染作業中の幾世橋小のグラウンド

除染が進んでいます

環境省の事業

環境省による浪江町内の除染は、昨年中に終了した酒田行政区に続き、今年5月末には高瀬・立野下の2行政区でも終了しました。

7月は、北幾世橋北・南、幾世橋、藤橋、西台、北棚塩の6行政区で作業中です。



北幾世橋周辺で進行中の除染作業の様子



町内のさまざまな復旧の状況をお知らせします。

廃棄物の処理が本格化します

環境省の事業

マリパークなみえ敷地内に、仮設焼却施設が完成しました。町内で収集・選別され、仮置場に保管されている災害廃棄物や除染廃棄物のうち、可燃物16.3万トンを燃やして減容化する施設で、平成28年度末までに処理を完了する予定です。5月25日に行われた火入れ式で馬場町長は、「山積みになった廃棄物の処理は、復旧から復興への第一歩」と語りました。



1日300トンの処理能力を持つ焼却炉



マリパークから見た仮設焼却施設。7月から本格稼働します。



5月25日の火入れ式にて

共同墓地を整備しています

町の事業

今年3月、海を一望する大平山に「浪江町営大平山霊園」が完成しました。400区画が整備されたこの霊園には、休憩できる屋根付きベンチが設置され、今後コミュニティ広場も整備されます。

